

## 第6期宮前区区民会議第1回準備部会 摘録

日時 平成28年6月13日(月) 18:00~20:00

会場 宮前区役所4階大会議室

出席者： 川田委員長、青柳副委員長、影山副委員長、老門泰三委員、大木委員、老門聰子委員、中里委員、椿委員、砂川委員、山田委員、黒澤委員、田辺委員、滝本委員、山部委員、荒川委員、大久保委員、佐藤委員、葛西委員、小田委員

事務局：(企画課長、企画調整担当係長、まちづくり支援担当係長、企画課職員)

欠席者： 中村委員

傍聴者： 0人

議題1 今期とりあげるにふさわしいテーマ分野・分類について(公開)

議題2 第2回準備部会に向けた進め方の提案(公開)

議題3 その他・事務連絡(公開)

### 1) 第6期宮前区区民会議でとりあげるにふさわしいテーマ分野・分類の中から各委員1つを選び発表。

#### ■分野A:交通・防災・住環境

##### 【交通】

影山委員 交通課題。私もここまてくるのは大変。足元の問題をあらためて感じた。

山田委員 交通問題などは政策提案のような形になり、二年間の任期とうまく折り合いをつけるのが難しいとは思いますが、取り上げてはどうか。向丘地区や野川地区のインフラ整備の必要性は多くの方が合意できるだろう。

##### 【防災】

小田委員 今、一番関心が高い防災。区内でも様々な情報が整理され、住民を巻き込んだ取組がされている。

滝本委員 (※分野D 地域コミュニティ 参照)

#### ■分野B:地域福祉・高齢者・子育て

##### 【地域包括ケア】

葛西委員 「地域包括ケア」の定義の明確化・支援メニューなどの情報の一元化。活動団体やボランティアがつながっていきける環境づくり。みやまえ子育てガイド「とことこ」の様な手法で事例取材・調査など進めながら情報発信。

中里委員 今年から本格化する地域包括ケア。地域に密着した拠点と、そこを核とした団体

の連携など。区役所から遠い地域、まだ連携が少ない地域などに課題がある。

黒澤委員 ゆりかごから墓場まで。暮らしていて良かったなと思えるまちづくり。自治会の本質的な課題でもある。

滝本委員 子育てと高齢者介護の「ダブルケア」に苦しむ方々。忙しい人ほど情報に辿りつけない。欲しい情報ほど糸が細い。困った時に飛び込める場、尋ねられる場が欲しい。

支援する／されるの選択ではなく、自分ができるところを選んで行ける場。例えばコミュニティカフェの中にお手伝いカフェを作って、親子や家族で一緒に行ける場とするなど。

椿委員 介護などに関する情報の一元化。地域のありがたみを感じるが、まだ課題がある。

みやまえ子育てガイド「とことこ」は、何かの時に開ける素晴らしい一冊で、私はかなり活用した。同じような手法でうまく地域包括ケアシステムを情報発信。

大久保委員 「地域包括ケア」の定義は明快に決まっているが、認知されていない。「在宅ケア」の「在宅」の定義も案外認知されていない。様々な情報を的確に拾って、つなぎ、広げていく作業をどこが行っているのか大きな疑問。私は今以上の公助と共助はあり得ないと考えている。互助と自助をどうするのか。自分が何をやらなければならないのか、何が足りないのかという見方が必要。みなさんと討議したい。

川田委員長 「地域一体型の福祉」の推進。支援が必要な高齢者が今後一気に増える恐れがある。近所の声掛け、気配り、見守りに支えられて、最後まで自宅で過ごすことができるように、生活者が自ら声を出して地域でやれることをやる。隣近所に声をかける人、近くに行く場所があるだけで安心に繋がっていき、防犯や振り込め詐欺防止などにもつながる。

### 【高齢者】

大木委員 高齢者の健康寿命を長くする方策の検討。

老門（泰）委員 相互見守り。高齢者に対象者を限らず、地域で総合的に広げていく。地域包括ケアをみんなが知ることから始め、学ぶ場を創出。認知症への対処方法などの知識がある人を地域に増やせば、人に優しい地域になる。

### 【子ども】

砂川委員 子どもの虐待防止。住民同士の顔が見える関係づくりを進め、互いの異変に気づきやすい関係をつくる。一番身近な地域で安全・安心な生活ができるようにする。今日も多世代の方々が私のお店に来てお茶を飲みながら雑談していたが、雑談の中から各人の生活状況や不安などが徐々に見えてくるようになり、相談してくれるようになる。身近な交流の中で足元から地域コミュニティ、安全安心のまちづくりを考えていきたい。

小田委員 子どもが多く、私の地域でも若い母親が頑張っている姿を良く見かけるので、子育て支援も取り上げたい。

老門（聰）委員 子育て支援、子どもの貧困、子どもたちの遊び場。冒険遊び場ももっと広げたい。子ども食堂などの取組も良いが、月一回では貧困の解決にはつながらない。親が忙しすぎて育児放棄の様な形になっていることもある。地域の中で先輩のお母さんが忠

告、声かけできるつながりのコミュニティができると良い。

#### ■分野 C：まちの産業振興・魅力発信

##### 【魅力発信】

田辺委員 魅力発信はもう止めてほしい。宮前区の素晴らしさは知人と話していても結構知られている。魅力発信が守りたい美しい緑の乱開発等に繋がる事もある。既にたくさんの資料が発行され、ネット上で情報が多く発信されている。

佐藤委員 「魅力」は発信すれば良いものではない。橘樹群衛跡は公園化して保存されたが、残していく意識がなければ住宅地になってしまっていた。何もしないことで魅力が失われてしまう例もある。どうバランスをとり、今後何をやっていったらいいのか考えていく。

青柳委員 地域の魅力をもう一度探る新しいしくみ。根底にあるのは地域活性化。働く場所、農地、寺社仏閣、人、子育て環境…全て地域の魅力につながっていく。

#### ■分野 D：世代間交流・地域コミュニティ

##### 【地域コミュニティ】

滝本委員 防災について身近な町内の人と話したい。冒険遊び場と防災訓練のコラボ。子どもを連れて行きたくなるような防災訓練。毎年同じメニューの訓練では行く気が無くなる。近年の災害事例も参考にしながら、地域の人と語り合い、自治会や子ども会などの活動にもつながるような訓練。(※分野 A 防災)

荒川委員 地域の中で集まれる場や施設を若い世代でつくっていく。母親が働ける施設も地域の中であると良い。菅生の市民館では 30 年来の活動があり、会館を自分たちがつくってきた自負を持つ団体の方々がいる。高齢者もいきいきとしている。例えばマンションができたなら、建築業者の協力を得て、働く場所や集まる場所をつくっていく。

山部委員 地域のつながりがやはり一番必要。災害時などにすぐに助け合えるか。まち歩きで地域を見て、歩いて、聞くことを通じてコミュニティをつくっていく。地震は今後 30 年の間にくると言われている。共に何かをやりながらのコミュニティづくり。

影山委員 最終的には人。「民力」とでも言うべきもの。人のやさしさや交流。地域の気持ちや気力の向上。行政にお願いするばかりではなく、自ら手を出し、共に階段をあがっていく事。区内でたくさんの活動団体が頑張っており、コミュニティは良いところまで来ていると思うが、「資金」と「仲間を増やす方法」の二つの課題を抱えている団体や地域が多い。そこをもうひと押しする提案ができないか。

#### ■分野 E：その他

##### 【地域課題の把握】

黒澤委員 長期的課題や第 5 期からの申し送り事項の検討。これまで専門部会でなかなか検討されてこなかった課題や継続的な課題。本当の宮前区の課題が他にないかどうか検討したい。

山田委員 これまでは「まとめやすい課題」を選択してしまう傾向があったのではないか。長期的な課題を企画部会などでうまく取り上げたり、他の課題と組合せたりできないか。

大久保委員 各課題は重なり合う部分があり、リンクしている。類似する施策やこれまでの提案によって、回答があったり、次のステップへ行けたりするテーマもありそうだ。これまでの提案や施策をPDCAのサイクルで、きちんと継続性など考えていくことが必要だ。

青柳委員 眠っているテーマを掘り起こす専門部会。継続的な取り組みに向けた検討も必要だ。

影山委員 限られた時間の中で、短期的なテーマ、勢いや人気の高いテーマが選ばれてきた傾向があった。これまで見逃してきた課題の中に、磨けば光る課題があるのではないか。

田辺委員 「実現性」を慮りすぎると、小さな提案・審議になってしまう。地域の本質的な課題をじっくりしっかり捉えたい。

大木委員 多数決、たくさん意見があるから重要とは限らない。

## 2) 専門部会の立上げに向けた第2回準備部会の進め方

### ■長期的な課題、過去の区民会議からの継続的な課題の取扱いについて（意見）

川田委員長 長期的な課題や継続的な課題は専門部会として取り上げるにはそぐわないという意見もある。第三の部会として立ち上げることを検討してはどうか。

事務局 区民会議の開催回数等が本庁から共通の枠組みとして示されている。第三の部会を立ち上げる場合、公式な会議の回数のやりくり等が必要となる。

青柳委員 継続的な課題の審議方法については、現役の委員だけではなく、これまでのOBの方々なども含めて討議してはどうかという意見もあった。

田辺委員 調査だけでなく、区民会議の制度そのものも検討していく場になりうる。今までの専門部会と同じ取り上げ方でも良いと思う。

大久保委員 同じような取組、検討の経緯があった課題はその部分は引き算して考えたり、その提案の結果、現在における継続性などを踏まえて検証・検討していく必要がある。過去の実績や努力をうまく活かさないと、もったいない。

### ■次回の討議の進め方（結論・専門部会の立上げに向けて）

- ・ 資料4の書式に基づき、各委員は今期の区民会議で検討したい、取り上げるに相応しいと思う審議テーマについて、第1希望・第2希望で記載、事務局に提出する。
- ・ 長期的な課題、継続的な課題は別途扱いせず、それが重要、今期の審議テーマに相応しいと思う委員は第1希望・第2希望のいずれかにその旨記入して提出する。
- ・ 次回会議では、委員の希望テーマの集計結果をベースにディスカッションで（多数決ではなく）審議テーマの絞り込み・調整を図る。

## 3) その他（区民会議の進め方等）

川田委員 わからない言葉などあれば、率直に聞いていただきたい。区民に向けてアピールしていく意味でも高度性や専門性は必要なく、分かりやすくしていくことが重要。

小田委員 発言を求める順番はランダムではなく、名簿順など明快な方が良い。

中里委員 川田委員長の前回の全体会で発言された「ホームレスの課題」の様に、全体会に参加されている区役所の職員に現状の対応や行政の考え方など回答をお願いするような内容については今後も機会があれば、関係課にコメントや回答を求めていくのか。

委員長より今後もコメントや回答を関係課に求めていくことを提案→全員賛同。